

事業番号	6	事業名等	津山国際総合音楽祭事業
仕分け結果	④市が実施(要改善)		担当課 文化振興課

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
①廃止	1	・道楽の事業と思える。
②民間が実施	1	・行政の役割は終了している。
③国・県・広域行政が実施	0	
④市が実施(要改善)	19	<ul style="list-style-type: none"> ・プロの演奏には、もっと入場料を徴収してもよいと思う。 ・存在感のある内容や取り組みを行なうべき。 ・いろいろなジャンルの違うコンサートを催すべき。 ・長期的な展望のもとに開催すべき。 ・クラシックでも、耳慣れた曲を中心に実施したほうがよいと思う。 ・国際総合音楽祭と市民音楽祭の区別がつきにくい。 ・PR活動にもっと力を入れるべき。 ・多くの市民に共感の得られる事業とするべき。 ・メインをクラシックから他のジャンルに変える転機と思う。 ・協賛金や入場料収入を高めて、市の負担額を少なくすべき。 ・今年開催の第8回音楽祭を充実させてほしい。
⑤市が実施(現行どおり)	9	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的にも継続してもらいたい。 ・さらに親しみのある祭典としてほしい。
⑥市が実施(拡大・充実)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にPRして、活性化できるように推進してほしい。 ・有名な人をたくさん呼んで、成功させてほしい。

※ 市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。